



かねさわ道を歩く

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 4 年 11 月 2 日(水)

集 合:港南ふれあい公園(案内図参照)

解 散:港南ふれあい公園

行 程:港南ふれあい公園→岡本橋→東樹院→うなぎの井戸→曲田橋→成就院

→環状 2 号跨線橋→取水庭公園→上大岡水門→港南ふれあい公園

岡本橋

むかしは、関の交差点一帯を上大岡村、区役所のあたりを松本村とよんでいましたので、上大岡の「岡」と、松本の「本」をとって、名づけられたのが、岡本橋です。さほど広い川幅ではありませんが、橋を架けるということになると、大事業です。でも橋ができれば、気軽にとなり村へ行けるようになるし、曲がりくねった、ぬかるみの道を歩かずにすむのです。村人の期待が高まるのも、無理はありません。工事は、思ったように進みませんでした。横浜と鎌倉を結ぶ役割も持った橋は、遠く離れた本郷や鎌倉の人たちからも援助をうけることができました。皆は、力を合わせ、川に橋の架かる姿を、思い描いては、希望に胸をふくらませました。ついに完成した時、橋を渡って隣村へ行ってみようとする村人でいっぱいになりました。橋は、村と村を一本の道でつないだばかりか、村人の心と心をも結んだのです。また、多くの人が、横浜と鎌倉を行き来することで、物資の流通もよくなり、経済的にも恵まれるようになりました。

東樹院の文福茶釜

むかしむかし、笹下の東樹院というお寺に、ある寒い冬の晩、一人の美しい娘がやってきました。「道に迷ってしまいました。すみませんが、一晩泊めていただけないでしょうか」。和尚さんは、温かい食事を用意し、その晩、お寺に泊めてあげました。数日後、また娘が訪ねてきて、お世話になったお礼にと茶釜を差し出しました。

和尚さんは、この娘には泊まる場所がないのだろうと思い、しばらくお寺にとどまるようにすすめました。娘はそのお礼にと、今度は見事な

絵を描きました。ところがある晩のこと、犬にかみ殺されたたぬきの死骸が見つかりました。そのたぬきは、お寺に訪ねてきた娘と同じ着物を着ていたのです。和尚さんはそのたぬきをねんごろに葬り、娘の描いた絵と茶釜を、お寺の宝にしたということです。残念ながら絵の方は火事で焼けてしまいましたが、茶釜は今も寺に残され、「文(分)福茶釜」と呼ばれているそうです。

【市民グラフヨコハマ民話の里】より

うなぎの井戸

北条実時(金沢文庫創設)が不明の病に倒れ家臣団の祈祷により、館より西北 2 里程に 2 匹のうなぎが住む井戸あり、その水を汲んで飲むべしとのお告げがあり、この井戸を探し当て水を飲むと一夜にして回復したとの伝承があります。

成就院

笹下上の下にあるお寺で、寺の門の前の石段左側に笹下城の説明番があります。

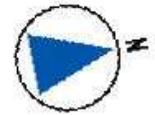
笹下中央公園

この付近は戦国時代小田原北条氏に仕えた武将間宮豊前守が自然の地形を生かして築いた「谷津構え」の笹下城跡。また、笹下中央公園には縄文時代の雑色杉本遺跡、動物を捕まえるための落とし穴が 26 と住居跡が見つかりました。



第155回 古民家歴史探訪 (栄区周辺散策)

港南区編 かねさわ道(鎌倉古道)を歩く 2022年11月2日実施



- 全行程5.5km
- ① 港南ふれあい公園 1300m
 - ② 東樹院 600m
 - ③ 打越交差点 1000m
 - ④ 成就院 500m
 - ⑤ 東福寺 400m
 - ⑥ 笹下中央公園 昼食 500m
 - ⑦ 大岡川水門 1200m
 - ⑧ 港南ふれあい公園



④ 成就院



⑤ 東福寺



⑦ 大岡川水門



⑥ 笹下中央公園



② 東樹院の女性と狸の焼き物



② 東樹院に伝わる文福茶釜



うなぎの井戸